

中川原公園の今後の整備方針

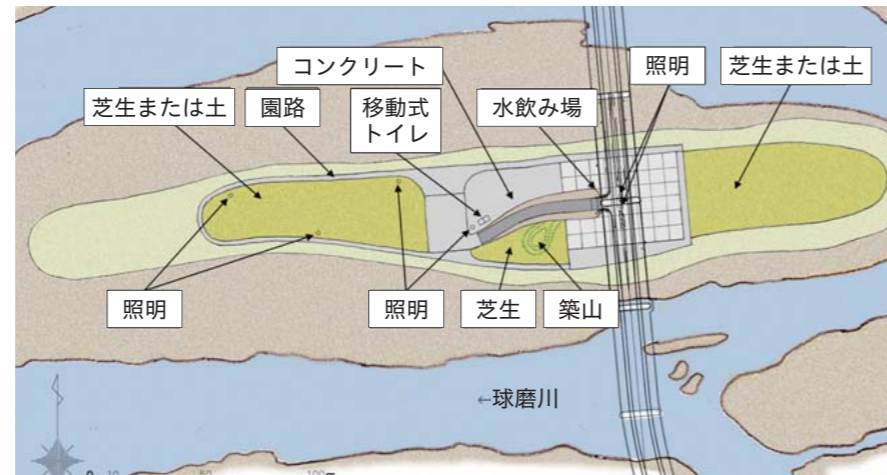
令和2年7月豪雨で被災した中川原公園は、令和5年度に4回の説明会とワークショップを開催し、市民の皆さんとともに整備方針を検討してきました。それを踏まえた今後の整備方針をお知らせします。令和6年度は社会実験を行いながら運用の検討を行っていきます。

詳しくは市のホームページをご覧ください。



▲市ホームページ

整備イメージ（令和5～6年度）



進行予定表（ロードマップ）

内容		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度以降
公園の利活用（市）			● 利活用案の社会実験	● 利用開始（工事などで一部制限あり） ● 利活用案を基に運用しながら変更検討			
災害復旧工事（市）	変更申請	●					
	復旧工事		● 斜路周辺だけ	● 園路・トイレ・芝生・照明			
公園整備（市）	社会実験			● 公園施設の設置検討			
	公園整備			● 石ベンチ・樹木・照明など整備			
護岸整備（河川管理者）	球磨川人吉地区かわまちづくり計画	● 変更検討	● 変更登録（8月予定）				
	設計・工事			● 護岸設計・工事予定			

問合せ 市都市計画課計画公園係（☎22-2111 内線2213）

建設型応急仮設住宅のうち6団地を利活用します

令和2年7月豪雨で被災した人たちの住まいの再建先となっている建設型応急仮設住宅のうち6つの住宅について熊本県から譲渡を受け、恒久的な住まいを提供するために市営単独住宅として利活用します。

利活用のための住宅改修工事を令和6年度に行い、同工事後に引き続き屋外整備工事を行います。転居が完了した後、それ以外の仮設住宅は撤去する予定です。

市営単独住宅として利活用する仮設住宅

仮設住宅名	譲渡戸数	改修後戸数
西間上第一	51戸	49戸
西間上第二	28戸	27戸
西間上第三	14戸	13戸
下原田第一	34戸	31戸
下原田第二	11戸	10戸
村山あやめ広場	15戸	15戸

問合せ 市住宅政策課建築係（☎22-2111 内線2235）

西瀬コミセンの供用を開始します

令和2年7月豪雨で被災し、令和5年3月から行っていた西瀬コミセンの移転新築工事が完了し、4月から供用を開始します。最大2㍓55㍓まで浸水被害を受けたことから、復旧には校区住民の意向を踏まえ、令和2年7月豪雨と同規模の災害が起こっても被災しないよう、元あった場所と隣接する土地に3㍓ほどかさ上げして新築しました。



▲外観

落成式で松岡市長は「多くの方にご利用いただき、さまざまな活動を通して地域の皆さまの交流が活発化することを期待している」とあいさつ。その後、設計・施工事業者への感謝状贈呈、球磨の六調子保存会による祝舞が披露されました。

問合せ 市社会教育課生涯学習係（☎22-2111 内線4021）



▲3月23日に行った落成式



▲体育館



▲会議室



▲調理室

中神遊水地平常時利活用検討ワークショップを開催しました

球磨川流域では、水害を軽減させる治水対策「球磨川水系流域治水プロジェクト」を進めています。その一環である遊水地は、平常時は市民の皆さんの健康増進や福祉、スポーツ振興、集いの場などとして利活用することができます。利活用に向けたアイデアや意見をもらうため、2月20日に市役所でワークショップを開催しました。今後もワークショップを開催しながら利活用案の方向性を決め、遊水地の設計に反映し、遊水地整備後に利活用案に合わせた段階的な整備を行う予定です。

ワークショップで出された意見

- ・陸上競技場やテニスコートを作ってはどうか。
- ・サッカー、フットサル、ラグビー、グラウンドゴルフの兼用の広場ができればいい。
- ・スケートボードができる場所を作ってはどうか。
- ・芝生広場があると良い。
- ・広めの駐車場も必要。
- ・周田堤はアップダウンのあるランニング、ウォーキング、クロスカントリのコースにしてはどうか。



▲参加者は2班に分かれ意見交換を行い、最後に全体で共有した

◀遊水地の形を印刷した広用紙にサッカーコートなどのパーツを当てはめながらイメージ

問合せ 市復興支援課まちづくり推進係（☎22-2111 内線3115）